

「海の日」海事関係功労者大臣表彰 北海道開発局関係では1名・1団体が受賞

国土交通省では、毎年「海の日」に、多年にわたり海事関係事業等に貢献された方々に対して大臣表彰を行っています。

今年の受賞者は99名・28団体で、このうち北海道開発局関係では、多年にわたり「港湾建設事業の振興」に貢献された白崎義章氏（釧路市・白崎建設(株)代表取締役社長）、多年にわたり稚内港北防波堤ドームでの環境美化活動に取り組み「港内等の環境美化」に貢献された「稚内のみなとを考える女性ネットワーク」（稚内市）の1名・1団体が受賞されました。

白崎氏は、7月18日（木）に国土交通省で行われた表彰式へ出席、稚内のみなとを考える女性ネットワークは都合により欠席となつたため、8月1日（木）稚内開発建設部において伝達式が行われました。

受賞された白崎氏からは「この度の受賞は大変光栄なことであり、ご尽力いただいた関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。今後も港湾空港建設業の健全な発展と港湾整備の拡充に力を尽くして参ります。」、稚内のみなとを考える女性ネットワークの会長である岩本氏からは「発足から活動を続けてこられたのは、関係機関のご協力のおかげです。受賞はとても栄誉なことであり、我々のエネルギーにもなります。」との受賞にあたってのお言葉をいただきました。



受賞された白崎義章氏



受賞された「稚内のみなとを考える女性ネットワーク」の皆様
前列左から石塚智子様、柄木潤子様、林稚内開建部長、岩本会長、川口ひろみ様、後列左から本山次長、川口彩華様、神正子様、柄木綾子様、佐々木千鶴子様、松本次長

長年にわたる活動ありがとうございます
～港湾空港関係功労者表彰及び海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰～

北海道開発局では、様々な団体と連携した港湾空港整備事業の効果的な推進を目的として、「北海道開発局港湾空港関係功労者表彰」及び「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」を実施しています。

今年度の「港湾空港関係功労者表彰」は、前千歳市長の山口幸太郎氏、前函館市長の工藤壽樹氏、前浜中町長の松本博氏、石塚建設興業(株)の石塚英資氏、(株)山田組の山田健一郎氏及び(株)鈴木工業の鈴木毅氏に、また「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」は、(株)稚内衛生公社に決定し、7月22日（月）に表彰式が執り行われました。

表彰式では、北海道開発局佐々木港湾空港部長から感謝状、表彰状がそれぞれ授与され、その功績を讃えるとともに、改めて感謝の意を表する挨拶がありました。

各受賞者の皆様からは、港湾空港にまつわる思い出、企業活動や清掃活動を進める上で心がけていることなどを交えながら、関係者の方々に対する謝辞等が述べられました。



受賞された方々（前列左から、稚内衛生公社様、山田健一郎様、山口幸太郎様、佐々木港湾空港部長、石塚英資様、鈴木毅様）

枝幸港みなと見学会開催！

枝幸港では、枝幸小学校3年生を対象に稚内開発建設部港湾稚内事務所主催による「みなと見学会」を7月17日(水)に開催しました。

平成29年度より開始した「枝幸港みなと見学会」ですが、コロナ禍により令和元年度開催を最後にそれ以降は開催を自粛していたところですが、新型コロナウィルス感染症が5類となったことを受け、昨年度より再開しました。

当見学会では、稚内港湾事務所港湾業務艇「りんどう」に乗船し、枝幸港内とその周辺海域を航海しながら、現在5棟目を建設中の屋根付き岸壁など、港湾施設の役割について港湾事務所職員により紹介及び解説をされていました。



さらに、「枝幸町の水産」と題し、宗谷地区水産技術普及指導所職員による講話を実施し、枝幸で漁獲される水産物、主にホタテの生態やその漁法などについて、動画やパワーポイントによる解説、実物の漁具を見せ、地元で獲れる水産物に興味が湧くように丁寧に説明されました。

枝幸港や地元で獲れる水産物に対し理解を深めることが出来る当見学会は、好評のうちに終了し、参加した児童も大変喜んでいる様子でした。



見学会終了後には、記念品として海上保安協会より助成されたオリジナルグッズと稚内港湾事務所より持参していただいたオリジナルグッズを児童に配布しました。

当見学会は、来年度以降も継続して実施する方針です。
(枝幸町水産商工課)

霧多布港の利活用について

6月27日（木）、地元にある町立高校「北海道霧多布高等学校」の1年生13名を対象に、北海道開発局（根室港湾事務所）所有港湾業務艇「ふよう」による乗船体験と座学を実施しました。

3年間通して浜中町についての理解を深める独自カリキュラム「浜中学」の一環として行われた今回の授業では、防潮堤と防波堤の違いなどの基本的な知識のほか、津波で被害を受けたことがある浜中町において、防災の視点から見た港湾が果たす役割についても知識を深めました。



座学で根室港湾事務所職員からの説明を熱心に聞く高校生



港湾業務艇「ふよう」での乗船体験

7月19日（金）には、浜中消防署が中心となり、浜中漁協と町職員、警察署員が海難救助訓練のほか、港湾区域でゴミ拾いを実施しました。4年目となるこの事業は、「海の日」付近の日程で消防の潜水訓練に併せて実施し、陸上だけでなく水中のゴミも拾うことで港湾利用者に対して「ゴミのポイ捨て・不法投棄の禁止」を啓発しています。



陸上と海中から回収したゴミと参加者

（浜中町水産課港湾係）

留萌港が綺麗になりました！！

みなとオアシスるもい「Port Clean in 留萌」を実施！

「みなとオアシスるもい」では、令和6年7月11日(木)に留萌港大町地区で「Port Clean in 留萌」(ごみ拾い)を実施しました！

今年で3回目となるこの事業は、「海の月間」に併せ、留萌港内のごみ拾いを実施したものです。

留萌港大町地区は、留萌の景勝地「黄金岬」に隣接しており、観光客が多数来留する場所であることから、朝7時から「みなとオアシスるもい運営協議会」会員及び会員の関係企業合わせて約70名の方にご参加いただきました。



ごみ拾いの様子

流木、漁網、浮等約1.2トンのごみを回収することができ、環境美化を図ることができました！

今後も引き続き、各団体の皆様のご協力をいただきながら、手を掛けて綺麗な環境を維持し、観光客をお迎えしていきたいと考えております。

※「NPO法人北海道みなとの文化振興機構」の助成事業により実施しました。



みなとオアシスるもいのぼり旗、ベスト着用によるPR

(みなとオアシスるもい運営協議会)